

一般質問発言通告書

議席番号 14 番

氏名 布施 賢司

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 岩多屋跡地活用の要望に対するその後の取組について

- ① 一年前、商工会議所から岩多屋跡地活用についての要望書が出されていますが、市長は直後の6月一般質問で、要望は浜田駅前周辺活性化のヒントを頂戴したような気がしていると、駅周辺の賑わいは、中心市街地の活性化に欠かせないものであると跡地活用を検討してまいりたいと答弁されました。この間、市民からも跡地活用に期待する声がありますが、閉店して一年以上経ちました。これまでどの様に検討されたのか伺います。
- ② 要望書を出された浜田商工会議所は、地理的に駅前銀天街と駅北地区、県立大学、朝日町商店街、紺屋町商店街との結節点に位置する福屋跡地に移転される予定です。利用については各世代間や企業などの交流の場となるよう、市と一緒に取組んでいきたいと要望がありますが、同じような要望をどう調整されるのか伺います。
- ③ 市として岩多屋跡地活用する、しないの判断はいつなのか伺います。

2 プレミアム付応援チケットについて

- ① これまで新型コロナウイルス感染症関連の支援策でプレミアム付「はまだ飲食・宿泊応援チケット」の発行は第4弾までありましたが、全て(1弾~4弾)発行枚数は完売され使用されたのでしょうか、市民や取扱店の反響など第4弾まで2年程続けたのですから、分析や効果など総括をするべきだと思いますが、そのことについて伺います。
- ② 応援チケット第4弾の後、コロナ禍の影響を受けた地域経済を回復させるため、全業種で利用可能なプレミアム付「はまだ応援チケット」の販売が開始されました。40%(2,000円お得)のプレミアム付のためか初日の販売開始には行列ができ、30分以上の待ち時間があったと聞いています。各会場トラブルなどなかったのか、このたびの市民優先販売期間(5月28日~6月1日)を設けた理由や冊数など、また、終了した市民優先期間販売状況の結果を伺います。

3 風力発電の取組について

- ① カーボンニュートラル推進室より、脱炭素化地域を目指して「創エネ、省エネ、畜エネでカーボンニュートラルを実現する」取組の資料が出されました。その資料の中で、浜田市は人口規模が近い28市と比べ、再エネ導入容量が一番多く、10kW以上の太陽光発電と風力発電が大部分を占めているとありましたが、その陸上風力発電の建設を巡っては、市議会に請願も提出され多めに論議致しました。その後、令和2年6月、日本風力エネルギー（株）の風車建設予定地域の変更届（予定地域は長見町）があり、建設許可申請書を関係機関に提出されたと認識していますが、その後どうなったのでしょうか。工事着工予定は2023年8月となっていますが現況をお伺います。

- ② 再生可能エネルギーの切り札として、洋上風力発電が注目されています。
日本の場合、世界第6位の排他的経済水域（EEZ）があり、海のエリヤが広く、国は洋上風力発電を日本の海に今後4,500基つくる計画をしています。海に面している浜田市も地域ならではのエネルギー資源はなにかと考えると、再生可能エネルギーの救世主となる洋上風力発電も考えられるのではないのでしょうか。地域から進める脱炭素社会をさらに進めるためにも、今から調査・研究を始めるべきだと思いますが、所見をお伺います。